

問1 日本企業がコスト削減を目的に生産拠点を海外へ移転した結果、国内の産業が衰退してしまう現象を何という？

1. 製造業                      2. サービス業                      3. 運輸業                      4. 建設業

問2 福岡県に建設され、石炭資源を利用して日本の重化学工業の発展の起点となった製鉄所を何という？

1. 八幡製鉄所                      2. 川崎製鉄所                      3. 釜石製鉄所                      4. 富士製鉄所

問3 冬の寒さを防ぎ、気温をコントロールして促成栽培を行うために積極的に利用される設備を何という？

1. コンバイン                      2. トラクター                      3. ビニールハウス                      4. スプリンクラー

問4 自然の海や川で魚を捕るのではなく、人の手で育ててから収穫する手法を何という？

1. 遠洋漁業                      2. 栽培漁業                      3. 沖合漁業                      4. 養殖業

問5 河川の勾配や水量を利用し、ダムなどで水をためてタービンを回す発電方法を何という？

1. 風力発電                      2. 地熱発電                      3. 水力発電                      4. 太陽光発電

問6 太平洋ベルトを中心に発展し、日本の主要な輸出製品を製造している産業分野を何という？

1. 自動車工業                      2. 石油化学工業                      3. 機械工業                      4. 製鉄業

問7 1985年に先進5か国がドル安・円高へ誘導することに合意した出来事を何という？

1. プレトンウッズ協定                      2. スミソニアン協定                      3. プラザ合意                      4. ルーブル合意

問8 太陽光や風力のように、自然界で繰り返し利用でき、発電時に二酸化炭素を排出しないものを何という？

1. 化石燃料                      2. 再生可能エネルギー                      3. 原子力発電                      4. 火力発電

問9 稚魚や稚貝を人の手で育ててから海に放流し、成長してから捕獲する手法を何という？

1. 栽培漁業                      2. 養殖業                      3. 沖合漁業                      4. 遠洋漁業

問10 特定の企業や工場を中心に、関連企業が集中して町全体が成り立っているような形態を何という？

1. 門前町                      2. 港湾都市                      3. 学園都市                      4. 企業城下町

問11 近郊農業において、収穫した作物を短時間で市場へ届けるために主に用いられる輸送手段は何？

1. 航空輸送                      2. 鉄道輸送                      3. トラック輸送                      4. 船便輸送

問12 京浜工業地帯などで、かつての重化学工業からシフトして集積が進んでいる、高度な技術を要する産業を何という？

1. 食品工業                      2. 繊維工業                      3. 鉄鋼業                      4. 先端技術産業

問13 高原などの冷涼な気候を利用して、平地の出荷が終わった時期に野菜を出荷する栽培方法を何という？

1. 近郊農業                      2. 施設園芸農業                      3. 促成栽培                      4. 抑制栽培

問14 現在、阪神工業地帯において大阪府から兵庫県にかけて集積している、石油精製やプラスチック製品などを作る工業を何という？

1. 繊維工業                      2. 機械工業                      3. 化学工業                      4. 鉄鋼業

問15 生産された作物を大都市などの消費地へ流通させるために経由する、卸売の拠点となる場所を何という？

1. 工場                      2. 農協                      3. 倉庫                      4. 市場

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 製造業	国内の工場が減ることで、関連する下請け企業への発注が減り、地域の雇用が失われるなどの問題が起きました。これを「産業の空洞化」と呼びます。特に国内のモノづくりを支えてきた製造業において大きな打撃となりました。
問2	<b>答え 1</b> 八幡製鉄所	八幡製鉄所は、1901年に操業を開始した官営製鉄所です。ここでの成功により、日本は鉄鋼製品を自給できるようになり、重化学工業の土台が築かれました。
問3	<b>答え 3</b> ビニールハウス	ビニールハウスは、骨組みにビニールやプラスチックのシートを張り、内部の温度や湿度を管理する施設です。太陽光を透過させて内部を暖め、外気の影響を抑えることで、野菜の成長を早めることができます。
問4	<b>答え 4</b> 養殖業	養殖業は、海や川に生け簀（いけす）などを設置し、餌を与えて魚介類を育てます。天然の資源量に左右されず、時期を調整して出荷できるため、経済的に非常に重要な産業となっています。
問5	<b>答え 3</b> 水力発電	「水力発電」は、ダムや落差を利用して水の勢いでタービンを回します。二酸化炭素を排出せず、需要に応じて即座に出力を調整できるため、電力の安定供給において重要な役割を果たしています。古くからあるエネルギー源ですが、技術の進化によりさらなる効率化が進んでいます。
問6	<b>答え 1</b> 自動車工業	自動車工業は、鉄鋼、機械、電気など数多くの関連産業から成り立つ「すそ野の広い産業」です。多くの部品を港に近い工場で組み立て、完成車として世界へ輸出する体制が整っています。
問7	<b>答え 3</b> プラザ合意	1985年、アメリカのプラザホテルで開かれたG5において、「プラザ合意」が成立しました。これにより各国は協調してドル安・円高を促すこととなり、結果として急激な円高が進行しました。
問8	<b>答え 2</b> 再生可能エネルギー	「再生可能エネルギー」は、太陽光、風力、地熱、水力、バイオマスなどが含まれます。これらは発電時に温室効果ガスをほとんど出さないため、地球環境に優しいエネルギーとして期待されています。
問9	<b>答え 1</b> 栽培漁業	栽培漁業は、人工孵化させた稚魚や稚貝を、ある程度大きくなるまで飼育し、その後海に放流する手法です。自然界で成長した個体を捕獲するため、天然に近い状態で水揚げできるのが特徴です。【概要】マダイやヒラメ、クルマエビなどで盛んに行われており、日本の水産資源の維持と安定供給に大きく貢献しています。
問10	<b>答え 4</b> 企業城下町	企業城下町とは、ある大企業の工場が町の経済や雇用を支える中心となっている都市を指します。雇用が安定し、地域経済がその企業に依存する一方で、インフラ整備などが進むという特徴があります。
問11	<b>答え 3</b> トラック輸送	トラック輸送は、日本の近郊農業において最も一般的な輸送手段です。深夜や早朝の高速道路網を利用して、大都市の市場へ短時間で農産物を運ぶことで、鮮度を保ったまま店頭に並べることができます。
問12	<b>答え 4</b> 先端技術産業	先端技術産業は、研究開発力や優秀な人材を必要とします。そのため、大学や研究機関が近く、生活環境の整った大都市圏や、その周辺に本社や研究所を設置する企業が増えています。
問13	<b>答え 4</b> 抑制栽培	抑制栽培は、夏でも涼しい高原地域などの環境を利用して、本来の旬より遅い時期に出荷を行う技術です。これにより、平地の産地が品薄になる夏場に新鮮な野菜を市場に供給することができます。
問14	<b>答え 3</b> 化学工業	化学工業は、石油や天然ガスなどを原料として、プラスチックや薬品、合成繊維などを生産します。阪神工業地帯では、中小企業が持つ高度な技術力が大手メーカーと連携し、付加価値の高い製品を生み出しています。
問15	<b>答え 4</b> 市場	市場は、生産者が育てた野菜や果物を全国から集め、仲卸業者を通じてスーパーマーケットや小売店へ流通させる拠点です。適切な価格形成を行い、安定した供給を保证する役割を担っています。